

令和8年度 各部等の運営方針

部名	危機管理室	部長名	竹中 慎太郎
-----------	-------	------------	--------

1. 中長期的な取組方針
<p>本市に最も大きな被害をもたらすと想定される生駒断層帯地震災害に備え、実効性の高い災害対応体制の構築に取り組む。その実効性を高めるため、職員と地域防災力（消防団・自主防災組織等）との連携強化を図るとともに、より実践的な訓練（医療救護訓練・物資輸送訓練・受援訓練等）を継続的に実施しながら、課題の洗い出しと改善を図る。</p> <p>また、被災者支援システムの導入を進め、被災者情報の一元管理と迅速な対応を可能とするとともに、被災者の生活再建や地域の復興を円滑に進める体制整備に努める。加えて、消防力の強化を図るため、消防車両の機能強化を定期的に進め災害対応力の向上を図る。</p> <p>これらの取組を着実に推進することにより、本市の災害対応力の向上と、市民の安全・安心の確保を図る。</p>

2. 各部等の重点施策（～令和12年度）			
【重点施策】			
多様な主体と連携した危機管理体制の構築			
【KPI】（令和8年度）	当初（R7）	R8年度	R12年度
市が主催する防災訓練回数の維持 （年間実施数）	（目標値） （実績値） 3回	3回	3回
災害応援協定締結数の増加 （年間締結数）	（目標値） （実績値） 0件	2件	2件

【重点施策】			
自主防災組織の機能強化			
【KPI】（令和8年度）	当初（R7）	R8年度	R12年度
年に1回以上自主防災訓練を実施する地区数の増加（年間実施地区数）	（目標値） （実績値） 25地区	26地区	30地区
地区防災計画の策定数の増加 （年間新規策定数）	（目標値） （実績値） 1件	1件	1件

【重点施策】			
地域での安全・安心な暮らしに資する助け合い制度の加入促進			
【KPI】（令和8年度）	当初（R7）	R8年度	R12年度
火災共済加入率の増加 （全世帯に占める加入世帯数の割合）	（目標値） （実績値） 21.3%	23%	27%

3. 令和8年度の取組方針	4. 令和8年度の重点取組（特に注力する具体的取組）
<p>本年度は、地震災害をはじめとする大規模災害に備え、実効性の高い防災体制の強化を図るため、防災訓練の充実、関係機関との連携強化、地域防災力の向上及び災害対応基盤の整備に努める。</p> <p>具体的には、実践的な防災訓練の実施により対応力の向上を図るとともに、民間事業者等の関係機関との災害応援協定の締結を推進し、円滑な応急対応体制の確保に努める。</p> <p>また、自主防災組織による訓練の実施を支援するとともに、地区防災計画の策定を促進し、地域における自助・共助の取組を強化することで、地域防災力の向上を図る。</p> <p>さらに、被災者支援システムの導入を進め、被災者情報の一元管理と迅速な対応を可能とするとともに、被災者の生活再建や地域の復興を円滑に進める体制を整備する。</p> <p>加えて、消防力の充実強化を図るため、消防車両の機能強化を定期的に進め、災害対応能力の向上に取り組む。</p>	<p>重点的な取り組みについては、災害発生時における迅速かつ的確な対応体制の確立を図るため、「①被災者支援システムの導入」及び「②消防車両の機能強化」を推進する。</p> <p>①被災者支援システムの導入により、避難者情報や被害状況等の一元管理をおこない、罹災証明書を早期発行することで、被災者の生活再建及び地域の復興を円滑に進める基盤整備を行う。</p> <p>また、②消防車両については、多様化・高度化する災害への対応力を強化する観点から、計画的な更新及び機能強化を図る。</p>

5. 令和8年度の取組実績

令和8年度 各部等の運営方針

部名	政策推進部
----	-------

部長名	野村 政弘
-----	-------

1. 中長期的な取組方針

令和8年度より改訂した第5次大東市総合計画及び第3期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる考え方に沿った取組をスタートする。
 大東に住み続けたいという定住意欲の向上を図るため、まちの基本となる「1. 安全・安心の土台の構築」と、大東を選び住み続けたいくなるような「2. 大東ならではの付加価値の創出」、それを支える「3. 財政基盤の強化」の3つの視点をもってまちづくりを推進する。
 大東に関わるすべての人や多様な主体の力によって、一人ひとりの幸せが実現できるよう、総合戦略に掲げた各種取組を着実に進め、市民サービスが維持・発展できるまちづくりを進める。

2. 各部等の重点施策（～令和12年度）

【重点施策】

新庁舎整備の早期着手・推進／市民に親しみやすく便利な庁舎づくり

【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
新庁舎の整備に向けた進捗率の向上 (目標値)		10%	60%
(実績値)	2% (R7年度見込)		

【重点施策】

公共施設等の再編に合わせたエリア価値の創出

【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
事業対象エリアの相続税路線価の維持・向上 (目標値)		R6年比上昇箇所を増加させる	R6年比上昇箇所を増加させる
(実績値)	0		

【重点施策】

子どもたちがまちづくりに関わる機会の創出

【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
市内小中高の学生の意見聴取を行って策定した行政計画の数の増加 (目標値)		毎年度改訂予定計画の半数	毎年度改訂予定計画の半数
(実績値)	4/6計画		

【重点施策】

公・民・大学等との連携による地域課題解決に向けた取組の推進

【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
大学等からの取組提案に基づく相談件数の増加・維持 (目標値)		2件	2件
(年間相談件数) (実績値)	1件 (R7年度見込)		

【重点施策】

市政への市民の参加の推進

【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
審議会の市民委員参画率の増加 (目標値)		26.9%	30.0%
(審議会のうち、市民委員が参画する審議会の割合) (実績値)	26.1% (R6年度)		

【重点施策】

大東の文化や歴史資源等の魅力の発信と周知

【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
観光・歴史・文化に関するホームページの情報発信数の増加 (目標値)		179件	217件
(年間発信数) (実績値)	170件 (R7年度見込)		

【重点施策】			
大東の安全対策や防災体制など、まちの安全性の発信と周知			
【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
防災・防犯に関するホームページの情報発信数の増加 (年間発信数)	(目標値)	137件	166件
	(実績値)	130件 (R7年度見込)	

【重点施策】			
大東の利便性や暮らしやすさなど、まちの魅力の発信と周知/各課の取組の積極的な情報発信と周知			
【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
市ホームページの情報発信数の増加 (年間発信数)	(目標値)	3,130件	3,800件
	(実績値)	2,980件 (R7年度見込)	

【重点施策】			
市の健康に対する取組や健康づくりの重要性についての発信と周知			
【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
健康・高齢者支援等に関するホームページの情報発信数の増加 (年間発信数)	(目標値)	389件	472件
	(実績値)	370件 (R7年度見込)	

【重点施策】			
子育てサービスを分かりやすく伝える情報の発信と周知			
【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
子どもに関するホームページの情報発信数の増加 (年間発信数)	(目標値)	221件	268件
	(実績値)	210件 (R7年度見込)	

【重点施策】			
市内企業の魅力やポテンシャルの積極的な発信と周知			
【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
産業・雇用に関するホームページの情報発信数の増加 (年間発信数)	(目標値)	168件	204件
	(実績値)	160件 (R7年度見込)	

【重点施策】			
大東の魅力や情報のメディア露出の拡大			
【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
プレスリリース発信数の増加 (年間発信数)	(目標値)	42件	51件
	(実績値)	40件 (R7年度見込)	

【重点施策】			
交付金等の積極的な獲得と事業の不断の見直し			
【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
府内平均以下への経常収支比率の改善	(目標値)	府内平均以下	府内平均以下
	(実績値)	97.6% (R6年度決算)	

【重点施策】			
デジタル化・DXの推進による業務効率化の推進			
【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
デジタル技術の活用による業務削減時間の増加 (累計削減時間)	(目標値)	4,100時間	5,000時間
	(実績値)	3,502時間 (R6年度)	

【重点施策】			
民間の力を引き出す提案型公民連携の推進			
【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
民間提案の相談の受付件数の増加 (年間相談受付件数)	(目標値)	8件	12件
	(実績値)	12件 (R7年度見込)	

【重点施策】			
デジタル化・DXの推進による市民の利便性向上ときめ細やかな行政サービスの推進			
【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
市民意識調査で「市役所の手続きがオンライン化されて便利になっている」と答える市民の割合の増加 (目標値)		37%	57%
(実績値)	32.4%		

3. 令和8年度の取組方針	4. 令和8年度の重点取組(特に注力する具体的取組)
<ul style="list-style-type: none"> ・新たな総合計画・総合戦略をスタートするにあたっては、「一人ひとりの幸せの増大」を図ることができるよう、誰もが希望や喜びを抱くことのできる元気なまちをめざし、部署間・政策間連携を進めながら、各種施策を着実に実施していく。 ・本市の魅力や様々な施策を積極的に市内外に発信することを強化し、イメージ向上を図る。住み続けたい、住んでみたい、行ってみたい、関わりたいと思う人口を増加させ、まちの活力を維持していく。 ・毎年度、各種施策の取組状況やKGIの達成状況を検証するとともに、市民意識調査を定期的を実施し、市政全般に対する傾向を把握することで、効果的な市民サービスの提供に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全庁的に発信力の強化を図り、効果的な広報活動の実施に向けた支援を充実させる。 ・若い世代の市政への参画を図るため、市民の意識を把握し、全庁的に共有することで「定住促進」のまちづくりに向けた総合戦略に掲げる取組の実現を推進する。 ・耐震性が不足する庁舎の新設にあたり、早期に基本構想の改訂を行い、その後の手続きを着実に進めていく。 ・北条まちづくりプロジェクト第Ⅱ期事業の推進にあたり、早期に市営嵯峨園第1住宅・第2住宅の整備を公民連携手法により進める。

5. 令和8年度の取組実績

令和8年度 各部等の運営方針

部名	総務部	部長名	鳥山 和郎
-----------	-----	------------	-------

1. 中長期的な取組方針
<p>第3期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進を支える体制構築のため、デジタル化・DXの推進により利便性の高い行政サービスの提供に努めるとともに、業務プロセスの見直し等により効率的な業務遂行を推進していく。また、そのためには職員の意欲を高め、能力を最大限に引き出すことが不可欠であることから、人材確保・定着促進・人材育成・キャリア形成支援等が一体となった人材マネジメントの推進に取り組んでいく。</p>

2. 各部等の重点施策（～令和12年度）			
【重点施策】			
郵便業務におけるデジタルツール等の代替手段の導入による業務効率化			
【KPI】（令和8年度）	当初（R7）	R8年度	R12年度
（目標値）		118,490千円	108,817千円
郵送料の削減	（実績値）	120,908千円	

【重点施策】			
職員の人材確保・定着促進とその成長段階や役割に応じた組織全体の力を高める人材育成			
【KPI】（令和8年度）	当初（R7）	R8年度	R12年度
（目標値）		倍率：20倍 測定値：4.57	倍率：30倍 測定値：4.6
採用試験の受験倍率の増加及び研修アンケートにおける効果測定値の改善	（実績値）	倍率：15.2倍 測定値：4.51	

【重点施策】			
電子契約の導入による事務の効率化			
【KPI】（令和8年度）	当初（R7）	R8年度	R12年度
（目標値）		5%	25%
契約書を作成する契約の内、電子契約の割合	（実績値）	0%	

【重点施策】			
個人住民税の納税通知書（特別徴収分）における電子通知の促進			
【KPI】（令和8年度）	当初（R7）	R8年度	R12年度
（目標値）		3,800件	5,000件
特別徴収義務者に対する電子通知の周知及び増加	（実績値）	3,689件	

【重点施策】			
キャッシュレス決済の利用促進			
【KPI】（令和8年度）	当初（R7）	R8年度	R12年度
（目標値）		88,000件	108,000件
eL-TAXIによる電子納税件数	（実績値）	83,288件	

3. 令和8年度の取組方針	4. 令和8年度の重点取組（特に注力する具体的取組）
<p>将来的な労働力の減少を見据えると、業務の効率化は不可欠であることから、デジタル化を中心とした業務の効率化など、限られたマンパワーで安定的に組織運営ができるよう取組を進めていく。</p> <p>また、それを実現するためには、原動力となる職員の意欲の向上が重要であることから、組織マネジメントを強化するとともに、人材の確保や定着、長時間労働の抑制、ワークライフバランスの改善、ハラスメント対策の充実等、様々な側面からより働きやすい労働環境を整備していく。</p>	<p>安定的な組織運営には、人材の確保と定着が不可欠である。このため、優秀な人材の確保に向けて、採用試験時期の変更等も含め、採用方法の改善を検討する。</p> <p>また、各階層における研修を実施することで、組織マネジメント力を強化し、ハラスメントの防止や人材育成・人材定着を推進する。</p> <p>これらの取組を通じて、中長期的な視点での組織運営を行っていく。</p>

5. 令和8年度の取組実績

令和8年度 各部等の運営方針

部名	市民生活部	部長名	竹田 智英
----	-------	-----	-------

1. 中長期的な取組方針

「第3期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、①地域コミュニティの再構築、②次世代につなぐ持続可能な環境の創造、③デジタル化・DXの推進による市民の利便性向上、この3つを重点施策とし、市民生活に直結する部署として、安全・安心・快適・利便性の向上を市民が実感できる地域社会の構築を目指す。これを実現するために、市民生活の基盤である自治会を強力にバックアップしつつ、「2050年カーボンニュートラル」の実現に向け、本市をはじめ、家庭・企業活動での省エネ・再エネ・資源循環の啓発を進めるとともに、「自分ごと」としての環境行動を促し、循環型社会への歩みを加速させる。また、行政サービスのデジタル化のさらなる進展の中核となるICTを活用したサービス提供に寄与するマイナンバーカードの取得促進、窓口予約制拡充等による滞留時間短縮の取組の促進、各種証明書等のコンビニ交付の普及促進、ワンストップサービスおよびオンライン申請手続きの拡充に向けた庁内横断的な連携など、「待たない、書かない、行かない」市民目線の行政窓口の実現に向けて取り組んでいく。

2. 各部等の重点施策（～令和12年度）

【重点施策】			
自治会運営支援の強化			
【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
自治会加入率の増加（全世帯に占める加入世帯数の割合）	(目標値)	70.5%	72.5%
	(実績値)	70.0% (R6年度)	

【重点施策】			
地域での安全・安心な暮らしに資する助け合い制度の加入促進			
【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
交通災害共済加入率の増加（全世帯に占める加入世帯数の割合）	(目標値)	23.3%	25.3%
	(実績値)	22.8% (R6年度)	

【重点施策】			
市民・事業者の温室効果ガスの削減			
【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
自分ごととして地球温暖化について考え、行動している市民の割合の増加	(目標値)	40%	60%
	(実績値)		

【重点施策】			
きれいで豊かな河川美化の推進			
【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
河川の浮遊ごみの少なさへの市民満足度の向上	(目標値)	13%	30%
	(実績値)	11%	
ポイ捨てごみの少なさへの市民満足度の向上	(目標値)	28%	40%
	(実績値)	27%	

3. 令和8年度の取組方針

- 令和8年度は、従来の「行政がお願いする自治会」から「市民が入りたくなる自治会」への転換点と位置付け、「自治会負担は減らし、つながりは深く」をテーマに、既存の自治会組織のアップデートを支援する。
- 市民の安全・安心な暮らしを守るために、SDGsの達成に向けた取り組みを意識するとともに、「第3期環境基本計画」に基づき、「2050年ゼロカーボンシティ」を目指し、本市及び家庭・事業所等における省エネの徹底、再生可能エネルギーの活用等を推進する。また、約8割が街なかから発生している河川ごみ対策について、発生抑制に向けた啓発およびオイルフェンス・ゴムボートを活用した回収対策に取り組み、河川の景観向上、生態系保護、海洋プラスチックごみ削減につなげる。
- 「待たない、書かない、行かない」市役所の実現に向け、庁内横断的な連携のもと、オンライン手続きの徹底、書かない窓口システムの導入、予約システムの拡充など、市民の利便性向上を目指す。

4. 令和8年度の重点取組（特に注力する具体的取組）

- ・市制施行70周年の記念すべき節目の年を市民とともに祝い盛り上げるため『市民まつり』『提案公募型委託事業』を未来へつなげる事業として実施
- ・令和8年度中に『（仮称）大東市地域コミュニティ及び自治会活動推進条例』を制定
- ・自治会DX化に向けた具体的手法の検討
- ・地球温暖化対策実行計画の推進（省エネ住宅応援補助金、再エネ電力共同オークションの実施等）
- ・効率的な河川清掃の実施と検証
- ・事業系ごみ処理手数料の見直し（事業者への周知、手数料収納方法の拡大等）
- ・資源ごみ等の持ち去り禁止について条例改正（6月議会）
- ・証明書交付対応キヨスク端末機の市民課付近への導入
- ・書かない窓口システムの導入に伴う窓口滞留時間の短縮化

5. 令和8年度の取組実績

<p>令和8年度の取組実績</p>

令和8年度 各部等の運営方針

部名	市民生活部（人権室）	部長名	佐々木 由美
-----------	------------	------------	--------

1. 中長期的な取組方針
<p>第5次大東市総合計画（後期計画）及び総合戦略において、「人権はすべての施策の基盤である」との認識のもと、その具体化を図る。</p> <p>このため、「人権の視点の見える化」を軸に、人権啓発の充実や相談・支援体制の強化を進めるとともに、各施策の実施に人権の視点を組み込む取組を推進する。</p> <p>あわせて、市民、企業、関係団体等との協働を通じ、多様性を認め合い、共生社会の実現をめざすとともに、男女共同参画や平和施策の推進を図る。</p> <p>これらの取組を通じて、人権が理念にとどまることなく、市政運営の中で実感できるものとなるよう、全庁的な人権行政の推進を図る。</p>

2. 各部等の重点施策（～令和12年度）			
【重点施策】			
市民協働による人権啓発の推進			
【KPI】（令和8年度）	当初（R7）	R8年度	R12年度
人権啓発推進事業参加者の満足度	(目標値)	100%	100%
	(実績値)	80.3%	
	(目標値)		
	(実績値)		

【重点施策】			
非核平和に対する市民意識の高揚			
【KPI】（令和8年度）	当初（R7）	R8年度	R12年度
非核平和事業参加者の満足度	(目標値)	100%	100%
	(実績値)	88.7%	
	(目標値)		
	(実績値)		

【重点施策】			
男女共同参画の推進			
【KPI】（令和8年度）	当初（R7）	R8年度	R12年度
男女共同参画推進事業参加者の満足度	(目標値)	100%	100%
	(実績値)	97.3%	
	(目標値)		
	(実績値)		

3. 令和8年度の取組方針	4. 令和8年度の重点取組（特に注力する具体的取組）
<ul style="list-style-type: none"> ●人権行政推進体制の強化 総合計画及び人権行政基本方針に基づき、「すべての取組が人権行政である」という認識のもと、全庁で取り組んでいる施策の推進状況の把握・共有を行うとともに、市民への公表を通じて「人権の視点の見える化」を推進する。 ●男女共同参画の推進 第4次大東市男女共同参画社会行動計画（改訂版）の目標達成に向け、男女共同参画意識の啓発や相談業務などを行うとともに、推進状況の把握・共有・公表を通じて、全庁的な取組の推進を図る。 ●市民協働による人権啓発活動の推進 人権啓発ネットワーク大東と連携し、市民との協働による人権啓発活動を推進する。 ●平和施策の推進 平和の尊さについて市民との共有を図るとともに、次世代への継承に向けた取組を推進する。 ●人権文化センターの次期指定管理者の選定 令和8年度で指定管理期間が満了する人権文化センターについて、次期指定管理者の選定を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■人権啓発推進事業 あらゆる人権問題の解決をめざし、憲法週間及び人権週間における記念事業や人権講座等を実施するとともに、地域集会所においては市内約30箇所「多様性と共生社会」をテーマとしたDVD「君の景色を知ったとき」を活用し、市民一人ひとりが身近な気づきを得られる取組を進めることで、人権に関する理解と意識の向上を図る。 ■非核平和事業 戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代へ継承するため、市民向け映画上映やパネル展、子どもが参加できる見学会・研修の実施に加え、平和をテーマとした絵画の募集や絵画展、子ども向け映画上映など、多様な手法による啓発を行い、非核平和に対する市民意識の高揚を図る。 ■男女共同参画推進事業 第4次大東市男女共同参画社会行動計画に基づき、性別にかかわらず誰もが活躍できる社会の実現に向け、トモイクプロジェクトを推進するとともに、市としてイクボス宣言を行い、企業や関係団体との連携を図りながら、市内全体で男女共同参画の取組を広げていく。

5. 令和8年度の取組実績

令和8年度 各部等の運営方針

部名	福祉・子ども部
----	---------

部長名	栗田 英治
-----	-------

1. 中長期的な取組方針

第3期大東市まち・ひと・しごと・創成総合戦略の重点分野である、「出産や子育ての安心と魅力の創出」を実現するため、こども家庭センター「ネウボランドだいとう」を中心とした、妊娠・出産から子育てに至る切れ目のない相談支援体制を強化するとともに、親が子育てと自己実現の両立を実現し、子どもたちが未来に希望をもって成長することのできる多様なこども施策の拡充に取り組む。

また、年齢や障害の有無、生活環境等に関わらず、全ての人に支援の手が届く、包括的な支援体制の構築を目指し、生活困窮者の自立に向けた就労支援や、ひきこもり状態にある方の社会参加のための支援を推進する。

2. 各部等の重点施策（～令和12年度）

【重点施策】

ネウボランドだいとうの相談機能の強化

【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
市民意識調査で「子育て環境が充実した、子育てしやすいまちだ」と答える市民の割合の増加 (目標値)		34.2%	37.8%
(実績値)	33.3%		

【重点施策】

子どもの居場所づくり

【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
子ども食堂の利用者数の増加(年間利用者数) (目標値)		4,901人	5,040人
(実績値)	4,892人		

【重点施策】

保護者の自分時間の創出支援

【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
こども誰でも通園制度の利用者数の増加(年間利用者数) (目標値)		42人	50人
(実績値)	36人		

【重点施策】

子育てサービスの利便性の向上

【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
「大東市子育てスマイルサポート券」の利用数の増加(年間利用枚数) (目標値)		25,164枚	26,512枚
(実績値)	24,827枚		

【重点施策】

社会情勢や保護者ニーズに応じた保育環境の整備

【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
保育定員に対する利用者の割合の増加 (目標値)		57.9%	62.0%
(実績値)	57%		

【重点施策】

子育て支援施設の充実

【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
子育て支援施設の利用者数の増加(年間利用者数) (目標値)		53,262人	54,768人
(実績値)	53,156人		

3. 令和8年度の取組方針	4. 令和8年度の重点取組（特に注力する具体的取組）
<ul style="list-style-type: none"> ●「子育てしながら、自己実現を図ることのできるまち」「子育て世帯が相談できる場所や人が身近にあるまち」の実現に向け、子ども家庭センター「ネウボランドだいとう」の体制強化と、「子ども誰でも通園制度」の充実に努める ●「こども大綱」の理念に則った、「こどもまんなか社会」の実現に向け、こどもの目線に立ったこども施策の推進に取り組む。 ●人口減少社会における保育サービスの安定的な供給に向け、保育ニーズに見合った保育利用枠を維持する。 ●地域福祉の推進に向け、生活困窮者やひきこもり状態にある方等、様々な理由で支援を必要としている方々に対し、個々の状況やニーズに寄り添った、きめ細やかな支援を届けるための体制を構築する 	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども家庭センター「ネウボランドだいとう」においては、子育て支援事業と母子保健事業が一体となった相談支援体制を確立する。 ●「子ども誰でも通園制度」の周知と利用ニーズの把握に努め、必要な利用枠の確保を進める。 ●最高裁判決を踏まえた生活保護扶助費の追加支給に早急に着手し、対象者への給付を進める ●就労支援や生活改善のためのアセスメントを通じた、生活困窮者の自立を支える取り組みを積極的に推進する ●引きこもり等の孤立した環境にある方へのアウトリーチ型の取り組み等、支援を必要とする人への支援の輪を広げる

5. 令和8年度の実績
This area is currently blank in the provided image

令和8年度 各部等の運営方針

部名	保健医療部
----	-------

部長名	神田 裕子
-----	-------

1. 中長期的な取組方針

第3期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略の重点分野である「健康寿命の延伸」のために、これまで取り組んできた健康づくりの素地をアドバンテージとして、人生100年時代を先導する心も身体も元気なまちを築いていく。そのためにはそれぞれの身体状況や生活状況に応じて活躍できる場や交流できる場を創出し年齢に関わらず社会に様々な形で参画機会を設ける。このことにより、生きがいや楽しみ、ひいては心の健康・身体の健康につなげ、誰もが安心して暮らすことのできる地域社会の構築を目指す。

2. 各部等の重点施策（～令和12年度）

【重点施策】

継続した運動習慣の啓発

【KPI】（令和8年度）	当初（R7）	R8年度	R12年度
健診受診者のうち、1日30分以上の運動を週2日以上、1年以上継続している市民の割合の増加（特定健診）	（目標値） （実績値）	40.4%	41.8%
	40.0% (R5年度)		
健診受診者のうち、1日30分以上の運動を週2日以上、1年以上継続している市民の割合の増加（40歳未満健診）	（目標値） （実績値）	17.8%	20.3%
	17.2% (R5年度)		

【重点施策】

けん診受診に対する啓発強化

【KPI】（令和8年度）	当初（R7）	R8年度	R12年度
特定健診・各種がん検診の受診率の増加（特定健診）	（目標値） （実績値）	34.0%	38.4%
	31.8% (R5年度)		
特定健診・各種がん検診の受診率の増加（胃がん検診）	（目標値） （実績値）	大阪府内28位以内	大阪府内18位以内
	4.2% (30位) (R5年度)		
特定健診・各種がん検診の受診率の増加（肺がん検診）	（目標値） （実績値）	大阪府内15位以内	大阪府内13位以内
	6.3% (15位) (R5年度)		
特定健診・各種がん検診の受診率の増加（大腸がん検診）	（目標値） （実績値）	大阪府内16位以内	大阪府内14位以内
	6.3% (17位) (R5年度)		
特定健診・各種がん検診の受診率の増加（子宮頸がん検診）	（目標値） （実績値）	大阪府内22位以内	大阪府内16位以内
	18.2% (23位) (R5年度)		
特定健診・各種がん検診の受診率の増加（乳がん検診）	（目標値） （実績値）	大阪府内26位以内	大阪府内18位以内
	14.8% (28位) (R5年度)		

【重点施策】

介護予防に向けた住民主体の多様な健康づくり活動の展開

【KPI】（令和8年度）	当初（R7）	R8年度	R12年度
新たな健康づくり活動事業数の増加（累計活動事業数）	（目標値） （実績値）	1事業	5事業
	0事業 (R7年度)		

【重点施策】

高齢者の居場所づくりや生きがいづくりなどの社会参加の促進

【KPI】（令和8年度）	当初（R7）	R8年度	R12年度
市民意識調査で「年齢を重ねても社会で活躍し続けたい」と答える高齢者の割合の増加	（目標値） （実績値）	45.3%	47.0%
	44.8% (R7年度)		

【重点施策】			
高齢者の生活を支えるボランティアや人材の確保			
【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
ボランティアの実活動人数の増加 (年間活動人数)	(目標値)	73人	81人
	(実績値)	71人 (R7年度見込)	

3. 令和8年度 of 取組方針	4. 令和8年度 of 重点取組 (特に注力する具体的取組)
<p>①新たな通いの場の創出 高齢者の健康増進と地域での豊かな暮らしを支援するため、新たな通いの場の創出に注力します。現状の大東市独自の「大東元気でまっせ体操」を基盤としつつ、多様化するニーズに対応した多種多様な活動の場を提供することで、高齢者自身が主体的に選択し、地域とつながりながら心身ともに健やかに暮らせる環境整備を推進する。</p> <p>②介護人材の確保と地域共生社会の推進 高齢者自身が地域活動の担い手として活躍できる場を創出し、地域全体で高齢者を支え、かつ高齢者が地域を支える好循環を生み出す基盤を構築を目指す。</p> <p>③疾病予防と健康増進の強化 ・がん検診の推進：自己負担の完全無償化を継続し、受診機会の公平性を確保する。 ・個別通知による勧奨・再勧奨を強化し、受診率向上とがんの早期発見・早期治療を促進します。</p> <p>④特定健診の強化 未受診者や生活習慣病の重症化リスクが高い対象者に保健指導プログラムや地域特性に応じた健康増進策を立案することで、生活習慣病の予防および重症化予防を目指す。</p>	<p>①新たな通いの場の創設を1か所目指す。</p> <p>②介護人材不足を補う取り組みとして、生活サポート事業および移送サービス事業の生活を支えるボランティアや人材の実活動人数の増加を図る。</p> <p>③がん検診においては、引き続き自己負担額の完全無償化を継続し、経済的障壁を取り除くことで受診機会の公平性を確保する。さらに、従来の個別通知による勧奨・再勧奨により受診率のさらなる向上を目指し、がんの早期発見・早期治療に繋がります。また、特定健診においては、ナッジ理論に基づいた勧奨・再勧奨を継続し、対象者の自発的な受診行動を促します。そして、レセプトデータと過去の受診歴に加えて健診結果データも統合的に分析することで、未受診者や生活習慣病の重症化リスクが高い対象者を高精度で特定する。これらのデータ分析によって得られた知見を基に、より効果的な保健指導プログラムの開発や、地域の特性に応じた健康増進策を立案し、生活習慣病の予防および重症化予防に貢献する。</p>

5. 令和8年度 of 取組実績
(記載不要)

令和8年度 各部等の運営方針

部名	都市経営部
----	-------

部長名	永野 幸宏
-----	-------

1. 中長期的な取組方針

行政主導の大きな開発で経済を回すシンプルな1つの渦から小さな経済の渦がシンクロし、相互に干渉・共鳴して面（エリア）を活性化させる。この小さな渦は民間のノウハウや資源と大東市が有する資源、特に公園、道路など公益資産を掛け合わせて生まれる。まちの豊かさは建物、敷地の価値から「都市空間」や「回遊性・快適性」といったエリアの豊かさに概念を拡げ、大東でしか味わえない楽しく快適かつ安全・安心で持続可能なまちを創出していく。中長期的な都市政策の方針である「大東市都市計画に関する基本的な方針」に掲げるまちづくりのコンセプトである1)安全・安心でいきいきと暮らせるまちづくり2)社会変化に対応する持続可能なまちづくり3)愛着と誇りの持てる魅力的なまちづくりに沿って将来像“地域がつながる魅力を伝える未来へ届ける幸せのまち大東”の実現を図る。

2. 各部等の重点施策（～令和12年度）

【重点施策】

市営住宅の耐震化の早期着手・推進

【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
深野園住宅の建替え工事の着手に向けた進捗率の向上 (目標値)		50%	
(実績値)	—		

【重点施策】

住宅の耐震化

【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
住宅の耐震化率の増加 (目標値)		89.1%	91.9%
(実績値)	88.4%		

【重点施策】

空家の適正管理の推進

【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
空家相談窓口連携事業を活用された件数の増加 (目標値)		5件	25件
(年間利活用件数) (実績値)	—		

【重点施策】

駅周辺等の賑わい創出

【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
公共空間を利用したイベント数の増加 (目標値)		70回	100回
(年間開催数) (実績値)	65回 (R6年度)		

【重点施策】

未利用普通財産（用途廃止が予定されている行政財産を含む）の早期方向性の決定

【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
方向性が決定した数の増加 (目標値)		3件	1件
(年間決定数) (実績値)	1件		

【重点施策】

生活関連経路（市道）のバリアフリーの計画的実施

【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
生活関連経路（市道）の整備率の増加 (目標値)		76.6%	93.3%
(実績値)	69.4% (R6年度)		

【重点施策】			
空家の利活用による流通促進			
【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
空家の利活用に関する補助制度の活用数の増加(年間活用数)	(目標値)	10件	25件
	(実績値)	5件	

【重点施策】			
公共施設等の再編・廃止による総量の見直し			
【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
床面積の削減(延床面積)	(目標値)	365,770㎡	350,991㎡
	(実績値)	369,465㎡ (R3年度)	

3. 令和8年度の取組方針	4. 令和8年度の重点取組(特に注力する具体的取組)
<p>●耐震性が不足し、老朽化した市営深野園住宅の建替事業を計画的に進める。また、増加傾向にある空家等については、地域の良好な生活環境の保全や都市の活力向上のため、総合的かつ計画的に空家等対策を推進する。</p> <p>●将来の人口や財政基盤、行政需要を踏まえ、財源の確保と財政負担の軽減を図るため、未利用普通財産(用途廃止が予定されている行政財産を含む)の利活用の方向性を早期に決定する。また、公共施設等の再編・廃止により総量を見直し、公共施設等を総合的かつ計画的に管理するとともに、将来にわたり持続可能な市営住宅の維持管理の実現をめざす。</p> <p>●住道駅周辺において、新たな賑わいを創出・維持発展させ、エリア価値の向上を実現させるため、官民連携による一体的なまちづくりを推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市営深野園住宅について、建替えに向けた手続きを着実に進め、早期着工を目指す。 空家等実態調査を実施するとともに、空家等対策計画を改訂し、空家等の適正管理の推進及び利活用による流通を促進するための施策を検討する。 公共施設量の適正化及び財政負担の軽減を図るため、公共施設等総合管理計画及び個別施設計画を改訂するとともに、市営住宅長寿命化計画の改訂により将来供給目標戸数の設定等を行う。

5. 令和8年度の実績

令和8年度 各部等の運営方針

部名	都市整備部	部長名	村田 大亮
-----------	-------	------------	-------

1. 中長期的な取組方針
<p>本市が目指す「市民一人ひとりの幸せの増大」の実現に向け、市民が「希望・喜びが実感できるまち」となるよう、エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出を進めるとともに、危機管理の観点からも安全・安心の土台に寄与する都市整備を推進する。エリア価値の向上に向けては、快適な移動環境整備として望ましい公共交通を確保し、特色のある魅力的な公園の再整備を進め、交通結節点となる四条駅周辺整備や道路等の基盤整備等の現在進行中の事業について着実に推進する。</p> <p>また、危機管理の観点から都市を支える道路・橋梁・ポンプ施設等の老朽化対策や校庭貯留の整備等地域の浸水被害軽減対策等に積極的に取り組むことで安全・安心の土台形成に寄与する。</p>

2. 各部等の重点施策（～令和12年度）			
【重点施策】			
地域の実情に応じた移動手段の整備			
【KPI】（令和8年度）	当初（R7）	R8年度	R12年度
公共交通（コミュニティバス等）の利用者数の増加（年間利用者数）	(目標値) 183,794人 (R6年度)	187,488人	195,102人
	(実績値)		
	(目標値)		
	(実績値)		

【重点施策】			
危機管理の徹底			
【KPI】（令和8年度）	当初（R7）	R8年度	R12年度
良好な状態の橋梁を維持する割合	(目標値)	92%	92%
	(実績値)		
校庭貯留容量	(目標値)	9,813㎡	10,413㎡
	(実績値)		

【重点施策】			
エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出			
【KPI】（令和8年度）	当初（R7）	R8年度	R12年度
「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度（%）	(目標値)	18%	22%
	(実績値)		
市民意識調査で「公園整備が充実したまちだ」と答える市民の割合の増加	(目標値)	52.40%	65%
	(実績値)		

3. 令和8年度の取組方針	4. 令和8年度の重点取組（特に注力する具体的取組）
<p>①住み続けたいまちづくり エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出に向け、望ましい公共交通体系の検討や、交通結節点や都市計画道路、都市公園等の整備等を行い、市民等から選ばれ、市民が住み続けたいと感じるまちづくりを進める。</p> <p>②安全・安心のまちづくり 橋梁等については、橋梁長寿命化計画等に基づき適切な維持管理を継続し、浸水対策については、ポンプ場更新計画に基づいたポンプ場の改修や浸水被害軽減に向けた校庭貯留の整備等の事業を実施し、本市でも起こりうる地震や豪雨などの自然災害等に対応した安全・安心なまちの土台形成を目指す。</p> <p>③まちづくりを担う職員の育成 部全体の職員の人材育成や技術力の向上及び継承、リスクの早期発見や業務改善のため設計審査会等を継続実施する。</p>	<p>市民の移動手段の確保に向け、これまでに実施した「コミュニティバスの乗降客調査」や「公共交通を利用しづらい地域における市民意向調査」などの基礎調査の結果を踏まえ、公共交通の望ましいあり方について検討を進める。</p>

5. 令和8年度の取組実績

令和8年度 各部等の運営方針

部名	産業・文化部
----	--------

部長名	田中 知子
-----	-------

1. 中長期的な取組方針

第3期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略の重点分野である「6 チャレンジする人と産業の後押し」を達成するため、市内企業の生産性・ブランド力の向上、人材確保や定着支援など、市内企業の持続的な成長を支援することで「企業留置」に取り組む。併せて、市外からの「企業誘致」を推進し、流入しやすい環境整備や市内企業との連携強化を図る。また、就労支援や創業・起業支援を行い、誰もが自分らしく働き、活躍できる環境の整備を進める。

「7 シビックプライドの醸成と市外からの人の呼び込み」においては、飯盛城跡や三好長慶などの歴史・文化資源に加え、文化・スポーツ関連施設の活用推進やイベント実施などを、市への愛着の醸成及び来訪者の増加や市内周遊の促進といった観光振興へ活かし、定住促進と産業振興など地域活性化へと繋げる。

2. 各部等の重点施策（～令和12年度）

【重点施策】

市内企業の生産性とブランド力の向上支援

【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
大東市の労働生産性（1人当たり粗付加価値額）の向上 （年間一人あたり粗付加価値額）	（目標値） （実績値）	大阪府との差の緩和	大阪府平均以上
	大東市：450万円 大阪府：562万円 (R6年度)		

【重点施策】

市内企業の人材確保・定着支援

【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
市内労働者数の増加 （年度時点労働者数）	（目標値） （実績値）	43,342人	44,102人
	44,002人 (R7年度見込)		

【重点施策】

産業施策の認知度向上と活用促進

【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
支援制度活用件数の増加 （年間活用件数）	（目標値） （実績値）	214件	246件
	205件 (R6年度)		

【重点施策】

新商品・新サービス開発支援

【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
新商品・新サービスの開発数の増加 （年間新規開発数）	（目標値） （実績値）	15件	27件
	12件 (R6年度)		

【重点施策】

創業者支援

【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
創業者数の増加 （年間の創業者件数）	（目標値） （実績値）	87人	95人
	83人 (R6年度)		

【重点施策】

就労支援

【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
就労にかかるセミナー・イベント参加者の就労率の増加	（目標値） （実績値）	5.0%	7.5%
	4.3% (R6年度)		

【重点施策】			
流入しやすい環境整備			
【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
市外からの本社移転及び事業所の新設・移転があった事業所数の増加 (年間誘致件数)	(目標値) (実績値)	72件	80件
	67件 (R6年度)		

【重点施策】			
市内企業と市外企業との連携の推進			
【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
連携プロジェクト数(マッチング数)の増加 (年間マッチング数)	(目標値) (実績値)	1件	2件
	-		

【重点施策】			
市外企業に向けた産業施策や操業環境の魅力の発信強化			
【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
市外企業からの相談件数の増加 (年間相談件数)	(目標値) (実績値)	3件	5件
	0件 (R6年度)		

【重点施策】			
歴史的資源や魅力資源を活かした来訪と市内周遊の促進			
【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
来訪・市内周遊促進に係る取組への参加者数の増加 (年間参加者数)	(目標値) (実績値)	10,890人	12,254人
	10,573人 (R7年度見込)		

【重点施策】			
地域産業と連携した観光プロモーションの強化			
【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
地域産業との連携施策による効果額の向上 (年間効果額)	(目標値) (実績値)	440,000円	644,000円
	400,000円 (R7年度見込)		

【重点施策】			
歴史的資源の保全と継承			
【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
市民意識調査で「歴史的資源が充実しているまちだ」と答える市民の割合の増加	(目標値) (実績値)	43.4%	51.0%
	41.5%		

3. 令和8年度の取組方針	4. 令和8年度の重点取組(特に注力する具体的取組)
<ul style="list-style-type: none"> ・市内企業が、持続的かつ強靱な経営を維持・発展できるよう、令和7年度に実施した「企業実態調査」から顕在化した課題に対応すべく「企業留置」支援の強化を図る。 ・令和8年4月に策定した「企業誘致に係る方針」に基づき、「誘致の方向性」を踏まえた具体的な誘致施策に取り組む。 ・令和8年に策定予定の「文化財保存活用地域計画」における、文化財の調査、保存・管理、活用、担い手づくり、防災の取組を計画的に進める。 ・市への愛着と誇りの醸成、市民生活の質的向上を図るため、文化・スポーツ事業の実施、施設の適正管理と運営に努める。 ・魅力的な歴史・文化資源を観光資源として活用し、市内外での発信力の強化を図り、来訪者の増加と市内での観光消費を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)大東市産業振興ビジョンを令和8年度中に策定し、本市産業施策の方向性を定め、生産性向上や人材確保・育成、事業承継など、各種施策のブラッシュアップや相談体制の強化、支援の充実を図る ・企業誘致の具体的な施策の一つとして、本市の魅力凝縮したツールを作成し、情報発信力を強化する。 ・生涯学習関連施設のESCO事業や総合文化センターの改修、スポーツ施設の修繕など、各施設における利用者の安全性及び機能性の確保を図る。 ・だんじり集結をはじめ、市制施行70周年記念事業として様々な事業を実施し、市民の市への関心や愛着を高めるとともに、市外からの来訪を促進する。 ・各保存活用計画に則り、平野屋新田会所や飯盛城跡の整備事業などを確実に進める。

5. 令和8年度の取組実績

--

令和8年度 各部等の運営方針

部名	教育総務部	部長名	北本 賢一
----	-------	-----	-------

1. 中長期的な取組方針

第3期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる重点分野である「確かな学力の向上と教育環境の充実」に向けて、大東ならではの彩り豊かな教育機会の創出によって、学びの個別最適化を図り、一人ひとりの学ぶ意欲を喚起する。そのために学力向上の取組みを一層推進し、学力の底力を育て、民のノウハウを活用した多彩な大東オリジナルの教育メニューを提供するとともに家庭・地域・学校・企業等が連携して、まち全体で子どもたちを守り、育てる意識を醸成する。
加えて、学びの深化や個別最適化、誰一人取り残さない教育を後押しするツールとしてICTの積極的な活用を図る一方で、発達段階に必要な「人と人との豊かな関わり」にもきめ細やかに取り組んでいく。

2. 各部等の重点施策（～令和12年度）

【重点施策】				
本市初の義務教育学校の整備に向けた準備・対応				
【KPI】（令和8年度）	当初（R7）	R8年度	R12年度	
（仮称）ほうじょう学園の整備に向けた進捗率の向上	（目標値）	25%	100%	
	（実績値）	0%		

【重点施策】				
児童・生徒数の推移と財政規模、今後の教育のあり方を見据えた適正規模・適正配置の検討				
【KPI】（令和8年度）	当初（R7）	R8年度	R12年度	
小中学校の適正規模・適正配置に向けた方針の策定	（目標値）	着手	-	
	（実績値）	-		

【重点施策】				
安全・安心で良好な学習環境の確保				
【KPI】（令和8年度）	当初（R7）	R8年度	R12年度	
特定建築物調査における小規模な修繕指図書事項の改善進捗率	（目標値）	20%	100%	
	（実績値）	-		

【重点施策】				
家庭での教育環境の向上に対する意識啓発				
【KPI】（令和8年度）	当初（R7）	R8年度	R12年度	
「基本的な生活習慣を身に着けるのは家庭の役割だ」と感じている保護者の割合の増加	（目標値）	57.4%	58.2%	
	（実績値）	57.2%		

<h3>3. 令和8年度の取組方針</h3> <p>1. 「小中一貫教育の推進と発展」のため、（仮称）大東市立ほうじょう学園の設置に向けた準備をすすめる。令和8年度は、地域・保護者や教職員等との連携を図り、契約に基づく設計・工事に着手するほか、新しい学校のルールづくりを推し進める。また、令和9年3月定例会を目的に、『学校設置条例』の改正議案の提出をめざす。</p> <p>2. 「将来を見据えた学校の適正規模・適正配置と学校施設・整備等の安全性の構築」のため、学校の適正規模・適正配置に関する基本的な考え方を取りまとめ、併せて、基準づくりに向けた論点を整理する。また、学校施設の改修の考え方を整理するとともに、予算化された学校の長寿命化改修工事及び校舎・体育館の空調設備にあっては、計画的な更新整備を施す。</p> <p>3. 「給食を柱とした食育の推進」のため、管理が徹底された安全な学校給食を提供するとともに、楽しい指導が行き届いた食育の推進を図る。また、中学校給食の提供方法を研究し、次年度以降の契約に向けた対応を講じる。</p> <p>4. 「徹底的家庭応援」のため、家庭・地域・学校・企業等が連携して、まち全体で子どもたちを守り、育てる意識を醸成する。「家庭教育支援事業」は、これまでのアウトリーチ型・サロン型・セミナー型の取組みについて、検証を行い、次の方策を見据えた企画立案を図る。</p>	<h3>4. 令和8年度の重点取組（特に注力する具体的取組）</h3> <p>1 義務教育学校設置事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【地域】検討委員会に複数の分科会を設け、委員以外の地域住民の参画を促し、学校開設までに決めるべき事項を整理。また、学校運営の方向性や工事内容について、地域説明会の実施や学校行事時の案内を通じて、広報と意見聴取に努める。 ・【工事】コストコントロールを施すと同時に、工事中の影響や完成後の効果を見据えた進行管理を実施。 ・【手続】市議会への条例提出のほか、補助金（負担金・交付金）の確実な獲得、府教委への開設届出等を実施。 <p>2-1 学校の適正規模・適正配置の調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「総合教育会議」にて、今後の検討方法の共有、今後のあるべき学校の姿を共有、基準づくりの諮問案を共有。 ・共有後に、基準づくり等を整理するなどし、報告書にまとめることを想定した「審議会」を創設。 <p>2-2 学校施設の工事の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化改良事業…南郷小学校（最終年度）、住道北小学校・住道南小学校体育館・四条北小学校（初年度）を実施。 ・体育館空調整備事業…南郷小学校・諸福小学校を実施。 ・校舎空調整備事業…灰塚小学校を実施。 <p>3 中学校給食の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度下半期に、令和9年度～12年度の中学校給食提供事業者を「総合評価一般競争入札」により実施予定（9月議会にて予算化し、総合評価審査委員会を立ち上げ）。
---	--

5. 令和8年度の取組実績

--

令和8年度 各部等の運営方針

部名	学校教育政策部
----	---------

部長名	新井 雅也
-----	-------

1. 中長期的な取組方針

第3期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる重点分野である「確かな学力の向上と教育環境の充実」に向けて、大東ならではの彩り豊かな教育機会の創出によって、学びの個別最適化を図り、一人ひとりの学ぶ意欲を喚起する。そのために学力向上の取組みを一層推進し、学力の底力を育て、民のノウハウを活用した多彩な大東オリジナルの教育メニューを提供するとともに家庭・地域・学校・企業等が連携して、まち全体で子どもたちを守り、育てる意識を醸成する。

加えて、学びの深化や個別最適化、誰一人取り残さない教育を後押しするツールとしてICTの積極的な活用を図る一方で、各発達段階において必要な「人と人との豊かな関わり」について、きめ細やかに取り組んでいく。

2. 各部等の重点施策（～令和12年度）

【重点施策】

教員による授業研究の促進と実践

【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
「授業の内容はよくわかる」の肯定的回答の増加	(目標値)	全国と同等を維持	全国と同等を維持
	(実績値)	大東：77.3% 全国：77.1%	

【重点施策】

「聞いてわかる」「話して伝える」活動を基盤とした、実践的な英語力の育成

【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
中学3年時のCEFR A1レベル(英検3級相当)以上取得率の増加	(目標値)	52.0%	60%
	(実績値)	49.7%	

【重点施策】

ICTの効果的活用

【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
教員のICT活用指導力評価の向上	(目標値)	87.5%	90.0%
	(実績値)	大東：87.1% 全国：86.3% (R6年度)	

【重点施策】

学校の授業以外での学習習慣の定着

【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
「学校の授業以外では全く勉強しない」と答える児童生徒の割合の減少	(目標値)	全国と同等	全国と同等
	(実績値)	大東：14.3% 全国：6.7%	

【重点施策】

地域人材の積極活用による取組の充実

【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
大東スクールアシスト制度の登録者数の増加(毎年12月時点の登録者数)	(目標値)	110人	150人
	(実績値)	101人	

【重点施策】

小・中学校の系統性・連続性を鑑みた連携・一貫の強化

【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
中学校区における会議等の連携回数の増加(年間連携数)	(目標値)	7.2回	8.8回
	(実績値)	6.8回 (R6年度)	

【重点施策】

地域人材を活用した地域クラブ活動の展開

【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
地域クラブ活動参加者アンケートの満足度の維持	(目標値)	90%	90%
	(実績値)	90% (R6年度)	

【重点施策】			
すべての児童・生徒が学校や社会とつながりを持つことができる機会の創出			
【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
「学びにアクセス」ができていない不登校児童生徒数の減少(年間対象生徒数)		60人	40人
(目標値)			
(実績値)	82人 (R6年度)		

【重点施策】			
大東のまちを知ることで、地域のために何かしたいと思う気持ちの醸成			
【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と答える児童生徒の割合の増加		全国と同等	全国と同等
(目標値)			
(実績値)	大東: 72.4% 全国: 78.3%		

3. 令和8年度を取組方針	4. 令和8年度の重点取組(特に注力する具体的取組)
<p>【ミッション(果たすべき役割)】 すべての子どもたちの可能性を最大限に引き出す学びの実現</p> <p>【ビジョン(めざす姿)】 幸せな未来を自ら切り拓くことができる人づくり</p> <p>【バリュー(行動指針・重点取組)】</p> <p>①学力向上 ②ICT活用 ③不登校支援 ④業務環境の改善(働き方改革) ⑤(仮称)ほうじょう学園構想 ⑥休日部活動の地域展開(魅力的な部活動の構築)</p>	<p>〈重点取組事項〉</p> <p>①学力向上 「学び合い」を核とした授業の質的向上</p> <p>②ICT活用 一人一台端末を“当たり前”に活かす授業改革</p> <p>③不登校支援 「学びへのアクセス100%」をめざした切れ目のない支援</p> <p>④業務環境の改善(働き方改革) 子どもと向き合う時間を生み出す学校づくり</p> <p>⑤(仮称)ほうじょう学園構想 小中一貫を見据えた新たな学びのモデルづくり</p> <p>⑥休日部活動の地域展開(魅力的な部活動の構築) 持続可能で、子どもにとって魅力ある部活動へ</p>

5. 令和8年度を取組実績

令和8年度 各部等の運営方針

部名	上下水道局	部長名	岡田 学
----	-------	-----	------

1. 中長期的な取組方針

「幸せデザイン 大東」（第5次大東市総合計画（後期計画）及び第3期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略）のまちづくりの理念である「一人ひとりの幸せの増大」に基づき、水道事業においては、令和7年度に改定した水道ビジョンの基本理念を「いつまでもつづく『幸せのまち』を支える水道」とした。基本方針の《安全》安全でおいしい水の供給、《強靱》いつでもどこでも安定した給水の確保、《持続》適正な維持管理と経営基盤の強化を実現するため、アセットマネジメントに基づく事業を実施し、災害に強い水道の構築を目指す。又、下水道事業においては、「大東市管路施設ストックマネジメント実施方針」に基づき、重要度の高い施設から順次、点検・調査及び修繕・改築を実施し、下水道施設の長寿化によりライフサイクルコストの低減を図り、良質な下水道サービスを持続的に提供することを目指す。

2. 各部等の重点施策（～令和12年度）

【重点施策】

地震等大規模災害時に備えた、病院や避難所等重要拠点への配水管路の耐震化

【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
重要拠点への配水管路の耐震化の実施 (重要給水施設配水管路の耐震適合率)	(目標値) (実績値)	96.3%	97.9%
	93.5%		

【重点施策】

良質な下水道サービスを持続的に提供する

【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
【ストックマネジメント事業】 持続可能な下水道サービスの実施 (要対策延長の実施率)	(目標値) (実績値)	23.3%	100.0%
	18.2%		
【全国特別重点調査事業】 道路陥没事故を未然に防止 (要対策延長の実施率)	(目標値) (実績値)	67.0%	100.0%
	0.0%		

【重点施策】

大規模災害発生時に水道施設が被災し断水が起こった場合、応急復旧完了まで段階別に応急給水を行う。このため、大東市上下水道局災害対策本部の組織構成員のほとんどにおいて、危機管理能力の向上と的確な対応能力を習得するため、局内に給水タンク車や緊急貯水槽等での応急給水訓練を行い、加えて大阪府の合同訓練へ参加し、他の地域や他部署との連携を図れるように体制を整える。

【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
応急給水活動に係る訓練回数の維持 (年間実施数)	(目標値) (実績値)	4回	4回
	4回		

【重点施策】

水道事業について、企業団と統合した団体や統合促進の取組状況、未統合団体の動向や府域一水道を視野に入れた統合に対する機運の醸成などを引き続き注視しながら、統合による効果やその時期も含め、お客さまにとって望ましい水道事業の運営形態をめざす。

【KPI】(令和8年度)	当初(R7)	R8年度	R12年度
大阪府と府内の全水道事業体の「府域一水道に向けた水道のあり方協議会」への参画（会議体への出席率）	(目標値) (実績値)	100.0%	100.0%
	100%		

3. 令和8年度の取組方針

●水道事業においては、「アセットマネジメント耐震化・再構築計画」に基づき、地震等大規模災害時に備え重要拠点への配水管路の耐震化を実施し耐震適合率を96.3%にする。
●下水道事業においては、施設の延命化・長寿化を図るため、「第1期ストックマネジメント修繕・改築計画」及び「第2期ストックマネジメント修繕・改築計画」に基づき実施率を23.3%にする。また、国交省から提言のあった埼玉県八潮市で発生した大規模な道路陥没事故を未然に防ぐため、「全国特別重点調査事業」は令和7年度の調査・診断の結果に基づき、対策が必要な管路の実施率を67.0%にする。

4. 令和8年度の重点取組（特に注力する具体的取組）

●水道事業においては、寺川配水場前線配水管布設替工事（他2件）延長671mの耐震化を行う。
●下水道事業においては、「第1期ストックマネジメント」は、西部排水区（第R8-1工区）改築工事（他1件+修繕）延長75.57mの修繕・改築を実施する。「第2期ストックマネジメント」は令和7年度に実施した修繕・改築計画に基づき、令和9年度以降の修繕・改築に向けて順次対象管路の詳細設計を実施する。また、「全国特別重点調査事業」は特別重点調査に伴う改築工事（第R8-1）（+修繕）延長1,439.45mを実施する。

5. 令和8年度の取組実績

--

令和8年度 各部等の運営方針

部名	議会事務局	部長名	田中 正司
----	-------	-----	-------

1. 中長期的な取組方針
<p>「市民に開かれ、信頼される議会」を支える議会事務局を目指し、次について中長期的な取組方針を掲げる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) デジタル社会において市民の議会への関心が高まる中、市民の声と市政を結びつける議会の役割の重要性を認識し、市政発展に資するため、議会事務局自体の機能強化と事務効率化を図る。 2) 「開かれた議会」の実現に向け「見える化」を推進し、「聞いて・見て」理解できる議会を目指すとともに、議場での傍聴者数とインターネット上での視聴者数の拡大を促す。 3) 今後も多様な情報にアンテナを張り、中長期的な視点で議会機能の充実に取り組む。 4) 多くの市民に関心を持っていただけるよう、議会公式SNSや議会だよりなどを通じた積極的な情報発信を継続する。 5) 二元代表制の一翼である議会と市長との関係が緊張感を保ちつつも円滑に機能するようサポートを行う。

2. 各部等の重点施策（～令和12年度）			
【重点施策】			
議会活動の充実強化（政策提言機能の強化、市民参加の機会創出など）			
【KPI】（令和8年度）	当初（R7）	R8年度	R12年度
地域経営のための議会改革度ランキング（目標値）		170位以内	110位以内
	184位		
	（実績値）		
	（目標値）		
	（実績値）		

【重点施策】			
市議会活動に係る情報発信力の強化			
【KPI】（令和8年度）	当初（R7）	R8年度	R12年度
議会だよりの読者満足度（目標値）		55%	75%
	51%		
	（実績値）		
市議会SNSの投稿回数（目標値）		204	248
	194		
	（実績値）		

【重点施策】			
【KPI】（令和8年度）	当初（R7）	R8年度	R12年度

3. 令和8年度の取組方針	4. 令和8年度の重点取組（特に注力する具体的取組）
<ul style="list-style-type: none"> ・二元代表制の一翼を担う議会がその責任と役割を十分に果たし、政策提言機能の充実など議会機能が有効に発揮され市政の発展に寄与できるよう、きめ細かなサポートを行う。 ・より多くの市民に市議会に関心を持ってもらえるよう、市議会SNSや市公式Line、議会だよりなどを通じて、積極的な発信を行う。 ・音声認識文字表示システムなどデジタル技術を活用することにより、市民に「わかりやすい議会」を目指すとともに、会議資料の更なるペーパーレス化を図る。 ・市政の円滑な執行のため、議会と執行機関との緊密かつ円滑な橋渡し役としての役割を十分に発揮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議会と市民の距離を近づけるとともに、市民の意見を議会の審議に反映させるため、6自治区において出前議会報告会を実施する。 ・会議資料の完全ペーパーレス化を目指し、出席者に配付する議事日程や次第などのペーパーレス化をより推進する。 ・市議会の活動への関心度上昇を目指し、議会だよりに係る電子アンケートを実施するとともに、議員と協力し議会だよりの掲載内容の充実や発行部数の検討等を行う。

5. 令和8年度の取組実績

令和8年度 各部等の運営方針

部名	選挙管理委員会・公平委員会・監査委員事務局
----	-----------------------

部長名	藤田 正登
-----	-------

<p>1. 中長期的な取組方針</p> <p>選挙は市民が政治に参加する重要な制度であり、民主主義の根幹を成すべきものです。しかしながら、各選挙の投票率は、いずれの選挙においても低下傾向にあり、投票しやすい環境づくりや政治や選挙に関心を持ってもらう取組が求められています。選挙管理委員会事務局では、DXの推進を含めた投票環境の改善や有権者の政治や投票意識の向上に向けた選挙啓発を検討し、実施してまいります。また、監査委員事務局では独立機関として、市が目指す「財政基盤の確立」のチェック機能を果たすため、各部署における行財政運営が適正であるか、また経済的かつ効果的に行われているか定期監査等を行ってまいります。</p>

2. 各部等の重点施策（～令和12年度）

【重点施策】				
誰もが投票しやすい投票環境への取組の推進				
【KPI】（令和8年度）		当初（R7）	R8年度	R12年度
各選挙における投票率（前回同選挙との比較）	（目標値）	+3%	+3%	+3%
	（実績値）	+8.62%		
びったりサービスを利用した不在者投票電子申請者数	（目標値）	25件	30件	50件
	（実績値）	24.5件		

【重点施策】

計画的な監査の実施				
【KPI】（令和8年度）		当初（R7）	R8年度	R12年度
定期監査及び工事監査の実施回数	（目標値）	4回	4回	4回
	（実績値）	4回		
	（目標値）			
	（実績値）			

【重点施策】

【KPI】（令和8年度）		当初（R7）	R8年度	R12年度
	（目標値）			
	（実績値）			
	（目標値）			
	（実績値）			

3. 令和8年度の取組方針

①選挙管理委員会事務局は、各種選挙事務の適正化や効率化に努め、有権者の投票環境や利便性の向上に資する取組を推進することにより投票率の向上を図る。

②監査委員事務局は、市の行財政運営が法令に適合し、また経済的かつ効果的に実施されているかについて監査することにより、職員のコンプライアンス及びコスト意識の醸成を図る。

③公平委員会事務局は、突発的な公平審査等（措置要求・不服申立・苦情相談）に迅速に対応できる体制の強化を図る。

4. 令和8年度の重点取組（特に注力する具体的取組）

①選挙管理委員会事務局は、令和9年4月に予定されている統一地方選挙に向けて、円滑かつ適正な執行ができるよう、標準準拠システム移行後の投票所受付システム及び投票所入場整理券郵送の実施方法や実情に合った投票所の在り方について検討を行う他、投票率が低い若年層に向けた選挙啓発を引き続き実施していく。

②監査委員事務局は、毎月の例月現金出納検査及び年3回の定期監査、年1回の工事監査を計画どおり実施することにより事務の適正化を図っていく。

③公平委員会事務局は、委員及び事務局職員が積極的に各種団体が主催する研修会等に参加することで知識の向上を図り、突発的な公平審査等が提出された際には委員とともに迅速に対応する。

5. 令和8年度の取組実績

<p>（この欄は実績を記載する予定です）</p>

令和8年度 各部等の運営方針

部名	会計室	部長名	田川 愛実
----	-----	-----	-------

1. 中長期的な取組方針

- 市民の財産である公金を安全・確実に収納・保管し、適切かつ効率的に会計事務を執行することで、市民の信頼に応える。
- 「第3期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる取組として、確実な資金管理の下で安全性を重視した効率的な資金運用を実施し、財政基盤の強化に寄与する。また、公金収納のデジタル化を推進し、市民の利便性向上と業務の効率化を図る。

2. 各部等の重点施策（～令和12年度）

【重点施策】			
基金の堅実で効果的な運用			
【KPI】（令和8年度）	当初（R7）	R8年度	R12年度
基金運用利子額（預金・債券）の維持 （年間運用利子額）		45,527千円	45,527千円
	45,527千円		

【重点施策】			
公金収納のデジタル化の推進			
【KPI】（令和8年度）	当初（R7）	R8年度	R12年度
公金のキャッシュレス決済支払い利用 率		50%	65%
	計測中		

【重点施策】			
【KPI】（令和8年度）	当初（R7）	R8年度	R12年度

3. 令和8年度の取組方針	4. 令和8年度の重点取組（特に注力する具体的取組）
<p>(1) 適正で効率的な会計事務の推進 会計事務を正確・適正に執行するため、確実な審査、収納を行うとともに、庁内に会計事務ルールを周知し、適正な事務に向けた助言・指導を行う。併せて業務効率化に取り組む。</p> <p>(2) 安全性を重視した効率的な資金運用 一括運用基金を活用し、金融情勢を注視して安全性を確保しながら、預金・債券を適切に組み合わせて運用する。また、歳計現金の資金計画を踏まえた預金運用にも取り組み、運用収入の増加を図る。</p> <p>(3) 公金収納のデジタル化の推進 令和8年9月から税以外の公金についてもeL-QRによる電子納付が可能となることから、庁内各課のeL-QR導入に向けた支援を行い、市民の利便性向上と収納事務の効率化を図る。</p>	<p>(1) ・支出書類の審査において、庁内各課への助言・指導を強化し、会計知識の不足による不適正経理の発生を防止する。 ・会計事務の全体最適化を目指し、業務効率化や事務簡素化に取り組む。</p> <p>(2) ・基金一括運用については、金融情勢を注視して安全性を確保しながら、預金・債券を適切に組み合わせて行う。 ・歳計現金の資金計画に基づき、資金量や預金可能期間を的確に把握し、安全で効率的な預金運用を行う。</p> <p>(3) ・eL-QR導入に向けた公会計システムの改修を完了し、庁内各課の導入に向けた支援を行う。</p>

5. 令和8年度の取組実績

--